

2007年度秋学期「学生による授業評価」アンケート報告 (Web)

FD部門・授業評価部門委員 山根 繁

1. Webアンケートの実施について

2007年度秋学期より初めて、従来の授業アンケートの実施方法にWeb（インフォメーションシステム）方式が加わり、紙媒体かいずれか一方を選択できるようになったため回答手段の選択肢が広がった。さらに、新たに授業終了時の1月にはWeb方式に限定して授業評価アンケートを実施できる環境が提供された。

2 Webアンケートの特徴

- (1) 紙媒体アンケートでは回答が授業時間中に限定されるが、Webアンケートの場合は実施期間中、学生はいつでも回答が可能である。
- (2) 授業時間外に回答が可能のため、学生は授業担当者の存在を意識することなく回答が出来る。また回答結果から個人が特定できないシステム構成なのでプライバシーは保護される。
- (3) アンケート結果のフィードバックが改善される。これまで要望が多かった授業終了時でのアンケートをWebで実施することで、全体アンケート後の授業改善の結果を確認することができる。また、フィードバックまでの時間も短縮することが出来た。授業担当者がアンケート結果を「公開する」に設定すれば、学生は履修科目のアンケート結果を閲覧できる。
- (4) 紙を使用しないので、何より地球環境にやさしい。

3 Webアンケートの結果

2007年度秋学期にWEBでアンケートを実施した科目（397科目）と、同一時期に実施された紙媒体を含む

アンケート全体（3,287科目）の結果を対象に回答率などを比較する。Webアンケートの実施率は、紙媒体を含むアンケート実施科目全体の12%であった。学部別に見ると工学部でのWebアンケートの実施率が17.5%と、比較的高かった。今回初めて導入されたためかWebアンケートの実施率は低かったが、今後は次第に高まることが期待される。

Webアンケートの回答率は29.9%で、全体の回答率の39.4%より9.5ポイント下回った。回収率を科目の種類別に比較する。外国語科目では全体の73.4%であったが、Web媒体では34.2%となり39.2ポイント下回り、体育実技も全体の68.3%から21.2ポイント低い47.1%という結果であった。しかし、講義科目では全体の回収率が31.0%に対しWeb媒体では29.2%と、ほとんど回収率に差はなかった。紙媒体のみで実施された2006年度秋学期での回収率の41.1%と比較しても、Web媒体は11.2ポイント下回った。また、2006年度秋学期のデータと、同一科目・同一担任者（139科目）に限って比較してみると、クラス規模が100人以下では紙での回答率が高いものの、クラス規模が100名以上になると、紙とWebでの回答率の差はあまりない。いずれにせよWebアンケートは回収率が紙媒体と比較すると下回る傾向があるので、これを高めていくことが今後の課題となる。報告者自身も今回Webアンケートを実施した。やはり、回収率はすこし低下したが、履修者が回答に時間をかけてくれたせいか、自由記述に授業改善に役立つコメントが多く見られ大変参考になった。

